

デマンドタクシーうぐいす号について

報告①

町では、便利で持続可能な公共交通ネットワークを構築するために、「誰もがおでかけしやすい公共交通」を基本目標として、平成 30 年 2 月に「府中町公共交通協議会」を発足し、令和元年 11 月には、「府中町公共交通網形成計画」を策定いたしました。

同計画では、路線バスやつばきバスの利用が困難な清水ヶ丘・桜ヶ丘地域を公共交通不便地域として指定し、その公共交通不便地域の解消に向け、新たな地域公共交通の導入について、国（運輸局）との協議を進めてまいりました。

令和 3 年 8 月からデマンドタクシーの試験運行を開始し、地域住民へのアンケートや利用実態を踏まえ、令和 4 年 10 月からデマンドタクシーは本運行へ移行しました。利用料金は大人 200 円、障がい者(介護者)・小学生 100 円、小学生未満が無料となっており、平日 7 便、土曜日に 6 便が運行しております。

現在はいうぐいす号の愛称で地域の方に親しまれております。具体的なご利用人数の推移を表一 1 に示します。

表一 1 デマンドタクシー 利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	利用者数					174	196	225	267	283	201	215	296	1857
	障がい者					25	44	47	42	41	24	36	35	294
	登録世帯数					23	35	45	55	64	65	66	66	
R4	利用者数	214	258	314	278	284	264	322	308	325	345	357	413	3682
	障がい者	38	37	41	41	47	38	59	68	67	71	66	83	656
	登録世帯数	67	69	71	73	77	77	81	82	83	85	86	90	
R5	利用者数	345	342											
	障がい者	67	78											
	登録世帯数	90	90											

本運行開始後も順調に利用者数は伸び、令和 5 年 3 月には利用者数が 400 人を超えました。また本運行に際して乗り降りのしやすい 5 人乗りの UD タクシーにて運行されるようになり、障がいのある方の利用が増えております。なお利用者の高齢者の割合は約 9 割、男女割合は男性 2 割、女性 8 割、障がい者の割合は約 2 割、小学生以下の子供の利用者は月平均 6 人程度です。

表一２ うぐいす号の収支率(令和４年１０月～令和５年３月)

運行経費	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行便数	169便	160便	176便	170便	167便	190便	1032便
①負担金（2,000円/便）	338,000	320,000	352,000	340,000	334,000	380,000	2,064,000
②事務費	41,700	41,700	41,700	41,700	41,700	41,700	250,200
③デマンド管理システム利用料	87,500	87,500	87,500	87,500	87,500	87,500	525,000
④運賃収入	-58,500	-55,000	-58,300	-61,800	-64,600	-74,300	-372,500
							2,466,700
				収支率(④÷(①+②+③))			13.1%

また表一２にうぐいす号の収支率を示します。運行経費と運行収入の比、収支率は 13.1%となっております。またフィーダー補助金が得られれば収支率は上がる見込みです。

清水ヶ丘・桜ヶ丘の町内会の皆様からは、うぐいす号を団地でよく見かける、利用者とドライバーが顔なじみになり安心して利用ができるようになった、地域の足となっている、という声を伺っております。また町内会の集まりの場では町内会長から、積極的にタクシーを利用することが運営の継続に繋がる、という話を度々されているとのことです。今後も町内会などと連携を図りながら、うぐいす号のサービスの向上と利用増進を図ってまいります。